



また、1ページ内に1文字でもカラー印字の体裁となっている場合にはカラーページとしてカウントされるため、特段の必要性がない限りカラー文字は使用しないことが望ましい。

### 3.2. ヘッダー・フッター

ヘッダー・フッター部分については、何も記載しないこと。

### 3.3. Abstract

Abstractは英文とする。記載する順番は、和文題目、和文著者名、英文題目、英文著者名の後にAbstractを記す。

### 3.4. 謝辞

謝辞にはセクション番号を付けず、まとめや結論の後に記述する。

### 3.5. 図、表、写真

図、表、写真については可能な限り鮮明なものを使用する。

図、写真のキャプションは、下部に記載し、表のキャプションは上部に記載することとする。

図、写真、表の配置は、適宜文章中に挿入する。

図1・図2、表1・表2、写真1などのように一連番号を付するとともに、必ず題を付ける。

### 3.6. URL (Uniform Resource Locator)

URLアドレスを参照する場合の記述形式は、執筆者名、表題、発行年月、URLアドレス、参照日の順とすることが望ましい。また、URLはワープロソフトの機能により自動的にハイパーリンクが付されることがあるが、ハイパーリンクを削除するか、文字列の下線を外した上で黒字表記にする。

### 3.7. 参考文献

#### 3.7.1. 参考文献の記述形式

参考文献にはセクション番号を付けず、論文の最後にまとめて掲載するものとする。また、引用した際には本文中の右肩に上付き数字と半角閉じかっこ「<sup>1)</sup>」にて「<sup>1)</sup>」等を付すること。

記載方法については以下のとおりとする。

#### (1) 雑誌・レポートの場合

執筆者名、表題、雑誌名、巻数、発行年月、ページ

#### (2) 書籍の場合

執筆者（編者）名、書名、出版社名、巻（発行年）、ページ

1つの書籍情報が2行以上にわたる場合は、2行目以降は全角2文字分インデントして記載する。

なお、本文中で引用している文献のみをここに挙げることに。

### 謝辞

必要に応じて記載する。

### 参考文献

#### (1) 雑誌・レポートの場合

執筆者名、表題、雑誌名、巻数、発行年月、ページ

#### (2) 書籍の場合

執筆者（編者）名、書名、出版社名、巻（発行年）、ページ